京都市
CITY OF KYOTO

＜報道発表資料＞

令和８年１１月１８日
京都市文化市民局動物園

京都市動物園
「エンリッチメント大賞」の受賞

京都市動物園では動物福祉※１の立場から、動物たちが心身ともに健康に暮らせるように飼育環境を豊かにする「環境エンリッチメント※２」に取り組んでいます。

このたび、全国の動物園・水族館を対象に、動物の飼育環境を豊かにする取り組みを表彰する「エンリッチメント大賞」を当園の「アジアゾウに対するエンリッチメントの取り組み」が受賞しました。

※１　動物が精神的・肉体的に充分健康で、幸福であり、環境とも調和していること。
※２　動物福祉の立場から、飼育動物の幸福な暮らしを実現するための具体的な方策。

【京都市動物園の取組】

当園では令和２年３月に作成した独自の「動物福祉に関する指針」に基づき、飼育員、研究員、獣医師がチームとなって動物福祉向上に取り組んできました。特にアジアゾウの動物福祉の向上は大きな課題として認識していました。令和６年に放飼場内の樹木ガードを整備し、フィーダー等を設置する環境が整ったため、令和７年度にはゾウを対象としたエンリッチメントや、来園者にも「エンリッチメント体験」イベントを通して動物福祉への理解を深める機会を提供しました。そして、効果の記録、評価、見直しと改善、という科学的根拠につながるプロセスを循環させた取組が評価され、このたびの受賞に至りました。





【授賞式について】

エンリッチメント大賞２０２６表彰式・受賞者講演会

●日程

令和８年１２月５日（土）

●場所

東京大学　弥生講堂　一条ホール（予定）

（〒113-8657 東京都文京区弥生１丁目１－１）

※その他詳細は後日 NPO 法人市民 ZOO ネットワークのホームページにて公表されます。

http://www.zoo-net.org

【エンリッチメント大賞について】

動物の飼育、展示に係る環境エンリッチメントの取組を支援することを目的に、NPO 法人市民 ZOO ネットワークが毎年、日本国内の動物園・水族館を対象に優れた取組を表彰しており、今年で２５回目を迎える。

（参考）京都市動物園の受賞歴

・平成１８年　飼育担当者部門（各動物に適した環境エンリッチメントの取組）

・平成２１年　チンパンジー舎での取組（チンパンジーの認知研究）

・令和３年　動物園全体の動物福祉向上のための体制整備

＜お問合せ先＞

京都市動物園　総務課　（電話：０７５－７７１－０２１０）

午前９時から午後５時まで。ただし、動物園休園日を除く。

（〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内）

京都市文化市民局動物園